

令和3年度 事業報告書（モデル的事业）

団体名：丹生川まちづくり協議会

1. モデル的事业名	若者参画促進事業		
2. 事業名	丹生川まちづくり青年部活動事業		
3. 事業期間	R2～R3（2年）	4. 事業進捗率	70%
4. 目的	若者が地域活動に参画する仕組みをつくり、地域活動に参画する若者が少ない、若者の意見がまちづくりに反映されていない、地域の問題に関心を持つ若者が少ない、地域活動に閉塞感が生じ始めた等の課題の解決を図る。		
5. 事業実績	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定例会の定期開催</li> <li>・学習会の開催「中部縦貫自動車学習会」</li> <li>・丹生川マルシェの開催</li> <li>・自然体験会の開催（魚つかみと川遊び、火起こし）</li> <li>・両面宿儺の紙芝居制作</li> <li>・スキルアップ研修会（チラシ作り研修・オンライン）</li> <li>・活動報告及び事業提案（理事会）</li> <li>・まち協のFacebook ページで、丹生川の情報を発信（随時）</li> <li>・特産品グルメ開発事業「すくなっツー焼き」の継続</li> <li>・丹生川かるたの制作支援</li> </ul> <p>・丹生川の未来を語る若者の会（中止）</p>		
6. 事業効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リモート会議を併用するなど工夫して事業の推進を行うことができた。また、3グループ体制で取り組むことで自発的に活動ができるグループも育ちつつある。</li> <li>・SNS等で部員の意思疎通を図りながら事業を進められた。</li> <li>・現在、丹生川地内で整備が進められている「中部縦貫自動車道」についての学習会を行うことで、地域の将来を考えるきっかけや今後の将来像に向けて学び、考える場を作ることができた。</li> <li>・これを受け、「丹生川の未来を語る若者の会」の開催を準備したが、やむを得ず中止とした。</li> <li>・令和2年度からの提案事業であるマルシェを開催することができ、若者世代を中心に丹生川地内に賑わいを生み出すことができた。</li> <li>・丹生川の魅力である自然を活用した事業により、地域の施設を活用できた。また、自然体験を通して子どもたちが自分の力で行うことで、成功や失敗など経験を積み学びができる場を作ることができた。</li> <li>・両面宿儺について学ぶために、講演会などに参加し、学び子どもたちに両面宿儺について知ってもらえるようオリジナル紙芝居制作に取りくんでいる。</li> <li>・部員発案のスキルアップ研修により、効果的なチラシのつくり方やデザイ</li> </ul>		

	<p>ンについて学ぶ学習会をオンラインでも行うことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「すくなっツアー焼き」や「にゆうかわかるた」など継続して行うことでより効率的な方法での取り組むことや、活動に対するやりがいを感じながら、楽しんで事業を遂行することができた。</li> <li>・理事会で今年度活動報告を行い、まち協本部に対して青年部の活動内容等を直接伝えることができた。</li> </ul>
<p>7. 今後の見通し・課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度実施予定だった中部縦貫自動車道についての「丹生川の未来を語る若者の会」を開催する。また、高速道路によって活性化した地域の視察研修を行い、丹生川の将来像を描き、今後の地域活性化の方策を探る。</li> <li>・「第2回マルシェ」の開催に向けて企画の検討などを行う。</li> <li>・意欲的に学べる場を作っていくための、丹生川学習会の検討。</li> <li>・タブレットなどの購入により、チラシ作りや打合せなど部員による積極的な組織運営を目指す。</li> <li>・「すくなっツアー焼き」など継続事業の推進。</li> </ul>

事業実施内容

月 日	項 目	事業内容（対象・方法等）	摘 要
毎月 1 回	定例会	事業の確認、準備、打合せ（6～10 月） 活動報告に向けた準備（2～3 月）	
8 月 12 日	にゅうかわ自然体験会 ～魚つかみと川遊び～	丹生川の自然の魅力を伝えるために自然体験会を実施	参加者：25 名
10 月 24 日	丹生川秋マルシェ	丹生川地域活性化に向けマルシェを開催	参加者：約 650 名
11 月 20・27 日	にゅうかわ自然体験会 ～火起こし～	身の回りのものを使い、火起こし体験会を開催	参加者：20 名
12 月 13 日	中部縦貫自動車道学習会	丹生川地区の中部縦貫自動車道についての進捗状況や今後の見通しを学習	参加者：12 名
2 月 11 日	スキルアップ研修 ～チラシ作り学習会～	部員発案の研修会をオンラインで開催 チラシ作りについて学んだ	参加者：10 名
3 月 30 日	まち協理事会	活動報告会・事業提案	
随 時	まち協 Facebook の更新		

令和3年度 収支決算書（青年部）

【収 入】

区 分	当初予算額	補正額	変更後予算額	決算額	差引額	内 訳
市補助金	1,000,000	△ 1,000,000	0	0		協働のまちづくり支援金(モデル的事業)
繰入金	50,000	△ 50,000	0	0		丹生川まちづくり青年部活動事業費
参加料	0	0	0	0		参加料
合 計	1,050,000	△ 1,050,000	0	0		

【支 出】

事業・科目	当初 予算額		補正額		変更後 予算額		決算額		差引額		内 訳
		支援金充当額		支援金充当額		支援金充当額		支援金充当額		支援金充当額	
青年部活動事業											
報償費	520,000	500,000	△ 520,000	△ 500,000	0	0	0	0			講師謝礼 委員手当 等
旅費	10,000	10,000	△ 10,000	△ 10,000	0	0	0	0			旅費
需用費	130,000	100,000	△ 130,000	△ 100,000	0	0	0	0			消耗品費、材料費、物品購入費、印刷製本費 等
役務費	30,000	30,000	△ 30,000	△ 30,000	0	0	0	0			通信運搬費、手数料、新聞折込料 等
使用料及び賃借料	10,000	10,000	△ 10,000	△ 10,000	0	0	0	0			会場使用料
委託料	350,000	350,000	△ 350,000	△ 350,000	0	0	0	0			委託料
合 計	1,050,000	1,000,000	△ 1,050,000	△ 1,000,000	0	0	0	0	0	0	

令和3年度 支出内訳書（モデル的事業）

単位：円

事業・科目	決算額		内 訳
		支援金充当額	
運営費			
報償費	0	0	
委員報酬	0	0	
講師謝礼	0	0	
旅費	0	0	
旅費	0	0	
需用費	0	0	
消耗品費	0	0	
材料費	0	0	
物品購入費	0	0	
役務費	0	0	
通信運搬費	0	0	
使用料及び賃借料	0	0	
使用料	0	0	
委託料	0	0	
委託料	0	0	
合計	0	0	